

八丁池・皮子平生物群集保護林

群集-13

管轄森林管理局・署	関東森林管理局 伊豆森林管理署
所在地	静岡県 伊豆市
面積	636.75ha
設定年	1991(H3)年
保護林の概要 (設定目的)	八丁池周辺は、約15万年前に活動を終えた火山である天城山の西麓にあり、ヒメシャラを特徴とするブナを主体とした天然林である。一方で、皮子平は、約3千年前と地史的に新しい時期に噴火した溶岩上に成立しているモミやブナを主体とする天然林である。この一帯は、火山地形上に成立した天然林であるといった共通性を有しながらも、地史的には、新旧を対比できる特徴を有している。このため、火山地形の歴史を反映しているブナ・ヒメシャラ・モミを主体とした地域固有の生物群集を有する森林を保護・管理することにより、森林生態系からなる自然環境の維持、野生生物の保護、遺伝資源の保護、森林施業・管理技術の発展、学術の研究等に資するために設定する。



モニタリング調査概要

実施年度	2010年、2015年、2020年
調査項目	樹木の生育状況調査、林床植生の生育状況調査、動物調査等
調査手法	森林詳細調査として、ブナ群落、ブナ-ヒメシャラ群落、ブナ-アセビ群落の生育地において調査プロットを計6箇所設定し、樹木の胸高直径、樹高の計測及び植生の種組成の概要を把握。動物調査として、調査プロットまでの経路に2つ調査ルート設定し、保護林内における出現種を把握。森林生態系多様性基礎調査の結果も活用。
結果概要	森林詳細調査について、上層を構成するブナやヒメシャラ等は病虫害、気象害等は見受けられないが、保護林全体としてニホンジカによる食害が著しく、ニホンジカの忌避植物とされている植物の生育が目立つ。林床植生の生育も僅かであり、保護対象種の低木や実生の生育も僅かであった。

※モニタリング調査の詳細情報については、森林管理局にお問い合わせください。